

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		保育システム改修事業			事業コード	1979
担当課等	所属名	保健福祉部 児童福祉課		担当係名		
	課長名	石塚 千英司	担当者名	高木 大輔	電話番号	2553

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	みんなで支える子育て支援の展開	コード 6
	基本事業	保育環境の充実	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 3款 2項 1目 消耗品費(011-01) 一般会計 3款 2項 1目 印刷製本費(011-04) 一般会計 3款 2項 1目 機械器具借上料(014-05)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 19年度～)					
事務事業の概要	<p>本事業は、保育所入所児童の管理、申込み受付、入所選考、各種統計資料の作成、保育料の賦課・納付管理及び保育所運営費支弁管理等を行うにあたり、従来のシステムで対応しきれない事務をシステムの新規開発により、事務量の削減を実現させるものである。</p>					
根拠法令等	児童福祉法、盛岡市児童福祉法施行細則					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>ここ数年、保育所への入所希望者数、保育所定員数、入所者数の増加により、それに伴う事務量も大幅に増加している。従来の保育システムは約10年前に開発されたものであり、特別保育を含めた現在の保育制度に対応しきれないものとなっている。システムを新規開発・運用することにより、事務量の削減を図ることを目的としている。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
<p>現在、保護者から提出された前年の所得稅資料を基に、児童福祉課職員が保育料の確定作業(稅資料のチェック、システムへの入力)を行なっている。新年度への移行時には、この作業が膨大な業務時間数の増加を招くため、賦課時期の見直し及び住民稅システム(所得稅データ)との連携が課題となる。</p>						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	保育システムを利用している職員	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 利用職員数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 保育システムの運用 ・保育所入所受付、選考事務 ・保育料算定、賦課、徴収事務 ・保育所運営費支弁事務 ・各種統計帳票作成事務 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 入所児童数	単位	人
				B. 納付書発行件数	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	保育システムを利用している職員の業務時間数を削減する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. システム導入後の入所関係に係る総時間数 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】	単位	時間
				B. システム導入後の通知書類発行経費及び保守費用 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】	単位	円
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	良好に保育される安心して働ける	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	待機児童数(4月1日現在)(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	利用職員数	人	12	12	15	15	15	15	26年度 15
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	入所児童数	人	63,008	64,328	66,700	66,618	67,000	67,000	26年度 67,000
活動 指標B	納付書発行件数	件	3,200	2,800	2,500	2,300	2,200	1,800	26年度 800
活動 指標C									年度
成果 指標A	システム導入後の入所関係に係る総時間数	時間	7,500	7,380	6,960	8,640	6,600	6,600	26年度 6,600
成果 指標B	システム導入後の通知書類発行経費及び保守費用	円	1,530,000	1,539,000	1,422,000	1,374,000	1,407,000	1,350,000	26年度 1,230,000
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,530	1,539	1,422	1,374	1,398	1,350	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,530	1,539	1,422	1,374	1,398	1,350	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,530	1,539	1,422	1,374	1,398	1,350	*****
延べ業務時間数		時間	7,500	7,380	6,960	8,640	6,600	6,600	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	30,000	29,520	27,840	34,560	26,400	26,400	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	31,530	31,059	29,262	35,934	27,798	27,750	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 保育所入所希望者及び入所者の情報管理能力が向上することにより、保育に欠ける家庭に対して適切な入所決定等を行なえることは、保育環境の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: システムを改修することにより、作業効率を上げ、コストを削減することができる。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 保育所入所に係る現状の事務を見直し、システムで対応できるように改良を重ねる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 保育の実施責任が市にある限り本事業が終了することはない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 口座振替率を高めることにより、納付書作成経費を削減する。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 保育所入所に係る現状の事務を見直し、システム化による業務時間数の削減を図る。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 現在新規入所児童の保護者に対しては、可能な限り保育料を口座振替納付をお願いし、徐々に口座振替の割合が増えているが、今後継続児で納入通知書による納入者に対しても、口座振替納付に変えるよう積極的に働きかける。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 4月入所者の口座振替納付の手続きを行うため、一時的に事務量が増えるが、長い目で見ると事務量、コストともに現在より減少する。4月に一時的に増大する事務については、7月賦課の検討により業務量の分散化を図っていく。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>22年度は入所関係の総時間数が増えており、システム改修や7月賦課の検討により、業務時間数の削減を図る必要がある。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>7月賦課を含め入所関係の事務を効率的にするための方策について検討する必要がある。</p>														